

村長賞

東由利村の発展策を講ずるためには、村の本命である農業をいかにして振興させるかという課題にまず明確な解答を与える必要がある。なぜならば、村の最も重要な産業である農業が伸展しない限り、村の将来の発展は期待しえないからである。

しかしながら、日本の農業が曲り角に來ているといわれる現在、わが村の農業のあり方だけが旧來のままであつてよいはずはない。むしろ、ごく最近まで米作り一点ばりの経済的にも恵まれぬ単作地帯であつたわが村であればこそ合理化された多角的な農業経営を村の実状に即して、これからのような線に沿つて推進させるかを一日もすみやかに解決することが、曲り角から将来の進路を方向づけ村の農業を前進させる唯一の方途であり、帰するところ、これがわが村を発展させる方策でもある。次にその方策について概略ふれてみたい。世界的に主要食糧が生産過剰に陥つていから、わが村も稲作のみに依存したのでは、経済的にゆき詰まるのは必然である。それをまぬかれるためには、成長農業といわれる酪農と果樹栽培を主体とした農業経営に切り換えて、それに主力を注ぐべきである。



村を發展

させるために

阿部 愈

取り組んで解決すべき課題である。「耕地の交換分合さえ実行が至難な矢先に、前述のような土地の転換などは容易に実現し得るものではない」と、悲觀的または非建設的な反對論を唱えるものがあるとしたならばその人間は「考ふる農民」ではなく、新しい農業の在り方に目を被う旧態依然たる農民である。農業の法人化とか共同経営化とかがしきりに叫ばれ、かつそれが農業先進地の考ふる農民によつて着々と実現に向いつつある現在にあつて、時代を認識しない農民は、立ちおくれどころか、落伍する以外に道はないであろう。

國家の法制による農業の機構改革を腕をこまぬいて待つ前に、村の各農協は一本化して農業委員会ときんみつな連繫を保ち、實質的にはこの両者が一致合体して、村の農業経営のあるべき方向と村の農家経済の進むべき道を明示し、村の農業の體質改善のために踏み切るべきである。

村の農業改革を実現するには、道路網の完成や原乳処理工場、果実貯蔵倉庫、製函工場などの建設、出荷組合の創設や、事業資金の蓄積などの物的な諸条件を適時適所に具備することがもとより必要であるが、各方面へ多くの経費を投入することは現在の農家経済と村財政がこれを許さないから、農業の發展を企画する現段階においては、何よりもまず新しい農業に着手する勇断を持ち、一時は悪条件と闘つても、乳牛の飼育頭数の増加と果樹栽培に身をもつて邁進するものが一人よりも二人と、漸進的にその数を増していくことが望ましい。國際經濟に直結して、企業性が特に濃厚な近代農業を經營するには工夫を必要とし、また困難もともなうから従來のように視野が狭く、

研究心の薄弱な農民は不適格である。合理的な経営にもとづく農業によつて東由利村を發展させるためには、結論として、近代的な農業技術を身につけ、村にじつくりと腰を落ちつけて、世界史觀的な立場からもを考え、そして実行する人間を養成するための酪農高等学校を現在の定時制高校から脱皮させることによつて明らに、そして住みよい豊かな村が出来るものと私は確信を持つて

郵便局だより

○ お年玉年賀はがきの賞品はお早く

お年玉つき年賀はがきの賞品は一月二十日から郵便局の窓口でお渡ししております。お早く受取り下さい。当せんした年賀はがきはそのまま印鑑と一諸にお持ち下さい。

○ 子供に夢とお金の尊さを

買物などのツリ銭をお子さまにもたせてよこして下さい。わずか五円、十円などといわず貯金通帳の左側が黒でうずまるほど大きな物が買えるのです。その時の子供さんの笑顔を思い出して貯金を続けさせて下さい。

○ だれにでもできる貯金

お金は俗に「おあし」といつて昔から逃げ足の早いことで有名です。皆さんのお手許金も、しらずしらず少なくなっていることにお気付でしょう。毎月少しずつでも楽しみながら積つてゆく郵便局の積立貯金をご利用下さい。

○ 第十四回NHKのど自慢大会

東北代表は誰でしょう？

簡易保険副賞付予想投票

NHKでは第十四回のど自慢大会の歌曲、歌謡曲、民謡各部門の県代表の声を左記月日に放送し、各部門の第一位は何県代表になるか？一般からの予想投票をつのることになっていきます。仙台郵政局からも百二十名様に限り記念品を差上げます。

一、放送日時 二月二十六日午後〇時十五分から一時まで

二、賞

NHKから二十名様
仙台郵政局から百二十名様（記念品）

【適中者多数の場合は抽せんによります。】

○ 犬は必ずつないで下さい

最近愛がん動物として、または防犯上の目的で犬を飼う家庭が増加していますが、この飼犬が郵便配達作業に重大な支障を与えているので犬は必ずつないでおくようにして下さい。最近の当局の被害模様は被服のみ二件、身体障害二件です。県では飼犬条例を制定しておりますので、みんなでこれを守るようにして下さい。

○ 郵便事業の現状をおわかり下さい

最近の郵便事業の特質、または実体は次のとおりでありますので、この点ご理解の上、格別のご協力をお願いします。
▽最近の郵便物増加、特に第三種、第四種、第五種の低料郵便物の増加が著しく昭和二十七年度に比べて書状、はがきは一・三倍、新聞、印刷物は二・五倍に激増している。

▽郵便は人によつて動かされ、機械化にも限度があり人件費は総経費の七五％になっている。

▽郵便物は増加しているとはいえ、低料郵便物の大型化と激増により施設費、人件費がかさむだけで赤字の状態に突入し、今後の運営上問題が生じている。

▽郵便は日本全国津々浦々に公平にサービスを提供する必要があり、田舎（当局）はもちろん人口の少ない都市ではほとんど赤字経営である。

▽現在当局の区内にも毎日配達をしない地域や一カ月に何回配達というように配達のない地域等があるが、郵便事業全体の収入が増加によりある程度解決されるものと予想される。